

令和元年度外部評価開催概要

令和元年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成（外部評価）①
令和元年 7 月 30 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価① 「行政サービスコーナー管理事業」【市民課】
開催日時	令和元年 7 月 30 日（火） 午前 9 時 35 分から午前 10 時 35 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	< 外部評価実施者 > ・行政改革推進委員 山本理絵、江頭隆行、細萱健一 ・外部評価委員 市岡紗理奈、唐田宏樹 < 担当課 > 総務部長 中西直起、市民課長 林 元美、同課係長 粕谷梨江 < 事務局 > 総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作
傍聴者人数	7 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none">・成果指標の目標値（市役所閉庁時の証明交付割合）がずっと同じであり、PDCAをまわす上で目標が変わらないことは疑問に思う。目標を高めるような指標を工夫してほしい。・指標について、「時間外」の要素もあるが、他にも地理的な要素などの利便性の観点も考えてほしい。特に文化の家については、コストだけで考えるのではなく、地理的なことで、市民サービスの向上に寄与している部分もあると思う。・他にも郵便申請等も考慮されるとよい。・文化の家での証明書等交付の廃止よりマイナンバーカード（コンビニ交付）の普及が優先と思う。当面は利便性を考えた方がよい。・障がい者や高齢者などの有人対応が必要な場合もあるため、文化の家での証明書等の交付で、どれだけの割合で有人対応が必要な人か分析できるとよい。・費用対効果の数値を持っていない段階で文化の家での証明書等の
-----------------	--

	<p>交付の廃止は時期尚早に思う。分析が必要と思う。意見のしようがない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少なからず利用者はいること、経年の環境変化もあること等を指標に表し、分析する必要がある。 ・外部評価では、事業を続けるか、廃止するかを判断するのではなく、内部評価について、評価する。 ・「事業の課題」について、『証明書誤交付の防止』は課題ではないと思う。あってはならないことは課題ではない。 ・Nピアについて、他の事業との連携も模索してほしい。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標・目標の工夫が必要。特に利便性を考慮した成果指標を考えてほしいが、どこまで、どのような利便性を追求するかは、他の負担と合わせて総合的に検討してほしい。 ・今後の見通しとして、証明書発行以外の情報発信について、工夫してほしい。 ・情報セキュリティ面について、継続的に取りくまれない。 ・文化の家での証明書等交付の廃止について、外部評価で答えは出せないが、現状分析をされ検討するとよい。
--------	---

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）②

令和元年 7 月 30 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価② 「まちづくり協働事業」【たつせがある課】
開催日時	令和元年 7 月 30 日（火） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 山本理絵、江頭隆行、細萱健一 ・外部評価委員 市岡紗理奈、唐田宏樹 <p>< 担当課 ></p> <p>くらし文化部長 浦川 正、たつせがある課長 磯村和慶、同課課長補佐 堤 健二</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部長 中西直起、総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	8 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり協働事業と地域（まちづくり協議会、自治会等）の事業との関わりがわかりづらい。 ・助成金について、申請は厳しく、あとの結果はあまり重視していないように見える。成果指標について、「助成の団体数」となっており、それよりも、どういう結果・成果になったかが重要と思う。 ・助成団体と市との協働の成果が見えづらい。成果指標を設定する中で市としてどのようにしていきたいかを入れてほしい。協働の成果について、明確化するとよい。 ・市のやってもらいたいニーズと助成団体の活動とのマッチングがされていないように思う。 ・収益性のない活動をする団体への助成終了後のフォローについて、配慮してほしい。 ・助成終了後について、委託と自立の間くらいのフォローがあると
-------------	--

	よい。
--	-----

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・募集の方策として、提案型は協働の可能性がより高まるためよいことと思う。 ・成果指標について、様々な「協働」があるため、分類することや、活動の成果として、報告会の審査等についても検討されたい。
--------	---

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）③

令和元年 7 月 31 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価③ 「防犯事業」【安心安全課】
開催日時	令和元年 7 月 31 日（水） 午前 9 時 35 分から午前 10 時 35 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男 ・外部評価委員 安藤美智子、山瀬のぞみ <p>< 担当課 ></p> <p>くらし文化部次長 川本保則、安心安全課長 南谷 学、同課課長補佐 山際裕行</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が集まる場所での普及活動は有効と思う。高齢者だけでなく、子どもが集まる場所、若い主婦が集まる場所等に積極的に出向いて活動することは、とても有効であり、実施してほしい。 ・行政評価票には、市民の防犯意識に関する記載（意識が高まったなど）がないため、数値化し、成果指標とすることは難しいが、どこかで記載してほしい。次のステップにつながると思う。 ・「改善・見直し」について、もう少し具体的に記載されるとよい。 ・他の事業との共通の課題（ボランティアの担い手不足、若者の参加不足等）を抱えていることは認識した。 ・ボランティアや地域の方同士の声掛けが防犯活動の協働につながっていくと思う。 ・自治会内での防犯活動について、取組が進んでいない地域もあるように感じる。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・凶悪な事件が増えてきているため、防犯対策について、国等への要望も適宜行い安心安全に努めてほしい。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯だけでなく、他の事業との連携が重要であり、実施してほしい。 ・色々な活動をされていることがわかったため、行政評価票にもう少し具体的なことを記載されるとよい。特に、「協働の可能性」や「改善のポイント」などについては、具体的かつ丁寧に記載されるとよい。
--------	--

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）④

令和元年 7 月 31 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価④ 「市民まつり事業」【たつせがある課】
開催日時	令和元年 7 月 31 日（水） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男 外部評価委員 安藤美智子、山瀬のぞみ <p>< 担当課 ></p> <p>くらし文化部長 日比野裕行、たつせがある課長 磯村和慶、同課課長補佐 熊谷美恵</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・運営部分を実行委員会に託すことはよいことと思う。 ・集客数だけでなく、出店者を含めた参加者の満足度も重要と思う。 ・成果指標として、来場者数以外の指標が考えられるとよい。具体的な数値が出るものを工夫してほしい。 ・実行委員会形式にしてから少し経過していることから、ノウハウの蓄積があるため、マニュアル化できるものはして、省エネを図るとよいと思う。新しい企画等を進めることに労力を掛けるようにできるとよいと思う。 ・農業展等との連携をしていることから、他の新しい事業、行事等との連携を模索するとよいと思う。 ・長久手市近辺では大学が多くあるため、大学生が参加できるようになるとよいと思う。既存の活動している大学生のグループの参加を促すとよいと思う。大学生が参加することにより、活性化につながると思う。
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の委員の固定化には、継続性のメリットと新しい人が入りにくくなるデメリットがある。 ・市民まつりの規模からして、実行委員は20人くらいが妥当と感じる。 ・例えば、地域ごとに順番で実行委員会に参加するような仕組み等も考えられる。 ・よりSNSの活用を図ってほしい。その中で、「手作り感」を出せるとよい。
--	--

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標について、実行委員会形式での事業を実施していること、実行委員会の機能強化を図っていく考えがあることから、来場者数以外に実行委員会に係る指標を検討されたい。 ・広く市民に開かれた事業として、様々な参加者を取り込み、かつ市民が主体となり継続的に実施されるとよい。
--------	---

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑤

令和元年 8 月 1 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑤ 「人事事務事業」【人事課】
開催日時	令和元年 8 月 1 日（木） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7 ・ 8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政改革推進委員 石橋健一、江頭隆行、山口秋男 ・ 外部評価委員 永吉 輝、村上 結 <p>< 担当課 ></p> <p>市長公室長 加藤正純、人事課長 北川考志、同課課長補佐 浅井紳一郎</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	5 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働き方改革を行う上で、時間外勤務の時間を減らすだけでなく、仕事の仕組みを変えることは重要である。また、組織で横断的に各事業に取り組むことは重要である。 ・ 成果指標として、横断的な取組の視点を入れることも検討されたい。 ・ 成果指標について、コスト管理に関することだけでなく、人の配置を含めた管理に関することの指標を検討されたい。 ・ 成果指標について、「質」として、行政サービスを向上させるという視点として、住民満足度などの指標を検討されたい。 ・ 定員管理について、市民や職員などの声を反映することも検討されたい。 ・ 各職場のニーズと時間外勤務の実情を踏まえ引き続き人員配置に取り組まれたい。
-------------	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・大量退職（定年退職）、役職者の育成を考慮した人事計画や対応策については是非検討されたい。 ・「人の育成」について、採用して終わりではなく、「入ったら育成」を念頭に置く必要があり、「人の育成」についても、この事業とは連動しているため、行政評価票に記載されたい。 ・時間外勤務の時間数を削減することについて、仕事量は変わらないため、組織の横断的連携、システムの導入等の手当が必要であり、各課で目標をたて、工夫して取り組まれない。手当として、投資することも方策である。 ・事業の目的に記載されている「人事評価」と「職員の定数管理」の結びつきがわかりづらい。表現を適切にするとよい。 ・行政評価票の記載について、未記載の項目（活動エピソード）があるため、記載すること。 ・例えば、窓口業務について、仕組みを工夫することで、職員配置の効率化にもつながると思う。 ・病気休暇されている職員へのサポートにも力を入れてほしい。
講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・評価基準（成果指標、活動エピソード等）について、「量」（定員数）と「質」（行政サービスの向上）の両方がわかるような評価をされたい。 ・「人の配置」だけでなく、「人の育成」も行っていることを行政評価票に明確に表現すること。

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑥

令和元年 8 月 1 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑥ 「子ども教室と児童クラブの一体型の推進」【子ども未来課】
開催日時	令和元年 8 月 1 日（木） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 石橋健一、江頭隆行、山口秋男 ・外部評価委員 永吉 輝、村上 結 <p>< 担当課 ></p> <p>子ども部長 浅井雅代、同部次長兼子ども未来課長 門前 健、同課課長補佐 西本 拓</p> <p>< 事務局 ></p> <p>行政課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域では、児童クラブや放課後子ども教室（施設面を含めて）のことを知らない人もいるため、周知されるとよい。見学などができるとうい。 ・各小学校区ごとに施設整備などについて、保護者や子どものニーズを反映してほしい。 ・運営面について、一体型をはじめて経年しており、そのノウハウを今後活かしてほしい。また、保護者や子どもの満足度、意見を反映するように取り組んでほしい。 ・運営面として、安心安全であることは重要であり、成果として、「事故が 0（ゼロ）」だということは是非、強くアピールすべきであり、行政評価票に記載してほしい。 ・他の自治体では N P O の活用や協働などを行っている団体もあるため、研究するとよい。 ・児童クラブについて、「生活の場」として、子どもが勉強できる
-----------------	---

	時間の設定等にも引き続き取り組んでほしい。
--	-----------------------

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・運営面について、利用者の満足度、意見を反映すること。安心安全について、アピールすること。 ・ハード面（施設）だけでなく、運用も一体型ができるように取り組まれない。場合によっては、国や県にも要望するとよい。 ・費用面については、公設公営、公設民営、P F I 等あるが、安心安全、利用者の満足度等を踏まえ検討されるとよい。
--------	---

令和元年度「長久手市役所の仕事」通知表」の作成（外部評価）⑦

令和元年 8 月 2 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑦ 「香流川近自然工法による整備」【土木課】
開催日時	令和元年 8 月 2 日（金） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7 ・ 8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政改革推進委員 山本理絵、樋口和則、島田智子 ・ 外部評価委員 安藤美智子、市岡紗理奈 <p>< 担当課 ></p> <p>建設部長 水野 泰、土木課主幹 丸山賢一、同課係長 館 正也</p> <p>< 事務局 ></p> <p>行政課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	8 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<p>・ 施策の目的として、「親しみやすく」と「環境にやさしい」の 2 つがあるように思うが、この 2 つの目的を達成するために、隣接する公園の整備と一体となった計画であることは重要と思う。</p> <p>・ 「親しみ」の面では、遊歩道との一体的な整備も検討されたい。特に、一部分だけでなく全体的な整備を検討されたい。</p> <p>・ 他方で河川整備であるため、防災面（大雨対策等）の考慮も重要である。</p> <p>・ 従来と異なる工法のため、コスト面（費用対効果）の考慮も引き続きされたい。</p> <p>・ 工事後のモニタリング結果について、市民、職員等にも周知してほしい。特に、子ども向けには、とてもよい教材になるため、ぜひ展示などして、活用してほしい。</p> <p>・ 工事後に内覧会（説明付き）のようなことを企画されて、市民に周知されることを検討してほしい。また、レクチャー付きのウォーキングの企画等もよいと思う。</p>
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習など学校教育の面でも有効と思うため、検討してほしい。積極的に周知、活用されたい。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境にやさしい」という面では、モニタリングを実施しており、結果から効果が出ているものと感じた。 ・防災面でも基準をクリアしており、心配はないように感じた。 ・「親しみやすく」という面では、工事後にモニタリングの結果の市民への周知、工法の説明等の実施や学校教育での活用などに取り組みたい。 ・公園の整備、その他の計画との一体的に連携を図り取り組まれたい。
--------	---

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑧

令和元年 8 月 2 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑧ 「防災訓練事業」【安心安全課】
開催日時	令和元年 8 月 2 日（金） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所西庁舎 2 階 第 7・8 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 山本理絵、樋口和則、島田智子 ・外部評価委員 安藤美智子、市岡紗理奈 <p>< 担当課 ></p> <p>くらし文化部長 浦川 正、安心安全課長 南谷 学、同課主幹 栗寄穂積</p> <p>< 事務局 ></p> <p>行政課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	6 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標における訓練参加者数について、目標が前年の参加者数というのは、やや安直に感じる。参加者数の状況、増減理由を分析し、目標をたてるようにするとよい。 ・成果指標における取組率について、具体的な課題がいくつあるか不明、具体的な課題内容、それに対する改善等が不明であり、具体性に欠けており、行政評価票に記載してほしい。 ・参加者数の目標値について、前年実績ではなく、小学校区ごとに参加割合を算出し、それに毎年の人口の増減率を加味し、目標値を算出すると説得性が出てくると思う。 ・成果指標について、市民参加型となっていることが測れるような指標の設定を検討されたい。例えば、市民参加型で企画、運営に携わった人数の増加などを考えてほしい。 ・参加者数の減少の対策について、小学校区ごとの参加率を公表し、競うのではないが、参加者同士が共通認識することで、意識の向上
-----------------	---

	<p>につながると思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応において、避難を前提にした避難所での訓練も重要であるが、全員が避難することは難しいと思い、他方では自宅で過ごす場合も想定できるため、自宅で災害対応をする訓練（講習会）も考慮してほしい。 ・災害弱者への対応は色々な課題があるが引き続き取り組んでほしい。 ・災害にも、地震、水害等で色々あるため、自分の住んでいるところの状況（危険性の認識）を知ることによって訓練の重要性の意識が向上することがあると思う。行動の訓練だけでなく、知識面についても、講習会などを実施されてカバーできるとよいと思う。 ・若い世代の参加について、インターネットのさらなる活用を検討してほしい。特に、検索で引っかかることは重要であり、テキストで作成されるとよい。また、ホームページだけでなく、SNSも活用してほしい。 ・参加者数を増やす取組として、体験型の訓練を増やすことを検討されるとよい。 ・訓練実施後の検証会で各小学校区の課題や先進的な活動事例について、市全体で互いに情報を共有されるとよい。他の小学校区のことを知ることはよいことと思う。 ・場合によっては、小学校区にこだわらなくてもよいこともあると思う。避難所ごとや、自治会ごとなども考えられると思う。 ・長久手市の防災マップはとても有効的なものであるため、より市民に周知、アピールしてほしい。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の参加者数に関する目標のたて方について、工夫するとよい。 ・訓練課題について、行政評価票で明確化し、外部に見やすいようにしてほしい。 ・市民参加型として、特に若い世代の参加について、引き続き色々模索し、取り組まれない。 ・訓練のあり方として、体験と知識のバランスを考慮し、訓練の内容をより効果的なものにしてほしい。
--------	---

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑨

令和元年 8 月 5 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑨ 「広報事業」【情報課】
開催日時	令和元年 8 月 5 日（月） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男 ・外部評価委員 永吉 輝、山瀬のぞみ <p>< 担当課 ></p> <p>市長公室次長 横地賢一、情報課長 福岡弘恵、同課係長 榎本芳樹</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課課長補佐 児玉 剛、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	4 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<p>・成果指標について、広報紙の「不満足度」について、不満足な理由は人それぞれだと思うため、具体的な不満足な理由への対応状況を行政評価票に記載されるとよい。</p> <p>・広報紙の「不満足度」はこれからもおそらく増えていくことはないと思う。このことが適切な評価につながるか疑問に感じるため、指標の工夫は必要と思う。</p> <p>・広報紙をどれだけの人が見ているかを把握、分析することは必要と思う。市民意識調査の活用などが考えられる。</p> <p>・高齢者にとって、広報紙の紙媒体での発行について、コストが掛かることはあるが、読みやすさもあるため、ありがたいものと思う。また、写真が掲載されているため、より読みやすくなっていると思う。</p> <p>・子ども向けの記事が少ないように思う。</p>
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙について、とても読みやすくなっていると思うが、他方でコストも掛かっていると感じる。紙媒体は残ると思うため、コスト面（財政面）の考慮が今後必要となる。 ・広報紙は公共性が高いと思うが、企業の広告を掲載し、広告料として収益性を研究されるとよいと思う。 ・長久手市の広報紙はレベルが高いと思うため、もっとアピールすべきと思う。 ・ケーブルテレビ番組の視聴頻度に関する指標の目標について、調査対象者がながモニへの登録者からすると40パーセントの目標は低いように感じる。せめて50パーセントは目標としてよいと思う。 ・ケーブルテレビの視聴頻度を増やすことについて、参加型の番組や子ども向けの番組を制作するとよいと思う。 ・ながモニについて、例えば、特定の人へのアンケートだけでなく、無作為で1,000人くらい抽出して、アンケートを実施するのも方策だと思う。 ・市民記者の発表の場を設けることも検討されるとよい。市民まつりの活用も考えられる。 ・中学生、高校生、大学生の部活やサークルなどの活用も有効と思う。 ・若い世代では、ホームページにそもそもアクセスすることは少なくなっているため、SNSの使用頻度は多いと感じるため、よりSNSの活用が有効と思う。 ・子育て世代に向けてはアプリの活用が有効と思う。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の「不満足度」に関する成果指標について、工夫すること。 ・広報紙のクオリティは高いと思うため、持続可能で10年、20年続けていくために、色々な人に協力してもらう体制を日ごろから作ることは大切であり、引き続き取り組むこと。また、収益性についても、研究されたい。
--------	--

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑩

令和元年 8 月 5 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑩ 「地区社会福祉協議会の推進」【福祉課】
開催日時	令和元年 8 月 5 日（月） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進委員 杉山知子、島田智子、山口秋男 外部評価委員 永吉 輝、山瀬のぞみ <p>< 担当課 ></p> <p>福祉部長 川本晋司、福祉課長 若杉雅弥、同課課長補佐 山田美代子</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部次長兼行政課長 飯島 淳、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	5 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社会福祉協議会を推進し、顔の見える交流、つながり等に取り組む上で、地域、自治会の役割が重要となると思う。 ・CSW（コミュニティソーシャルワーカー）と行政との情報共有は重要であり、引き続き頻度を高めるよう取り組まれない。行政側の内部の連携も重要であり、引き続き取り組まれない。 ・市民のCSWの認知度を上げるため、周知について、引き続き取り組まれない。 ・CSWの活動項目はとても幅広いように思うこと、各地区に1人の配置で人員が少ないこと等から、全体で問題、課題の共有を図らなければならないと思う。 ・行政評価票の中期、長期の目標（書き方）について、これから様々な課題、問題が見えてくる施策だと感じるため、記載を工夫されるとよい。 ・CSWの配置転換や人員が少ないなどのことを考えると、CSW
-----------------	--

	<p>のサポートは重要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政面で国の補助金も将来的に不透明な部分はあると思うので、今後も注視して取り組まれない。 ・福祉の面において、地域のコミュニティのあり方は重要な要素であるため、地域活動に参加されない方の掘り起こしが課題のように思う。 ・定期的に、地区ごとの課題や先進的な活動事例について、市全体で互いに情報を共有、学び、交流されるとよい。他の地区のことを知ることはよいことであり、場合によっては他市町の情報を聞くことも有効と思う。 ・テーマ（施策）が重いため、グッズなどの配布も方策としては有効と思う。
講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・この施策は重要な取組であり、引き続き、CSW、行政、その他の団体等での連携、また庁内の連携を図り、情報共有し、推進してほしい。 ・施策を進める中で、中期的、長期的には様々な課題、問題が出てくると考えられるため、持続的となるように取り組まれない。

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑪

令和元年 8 月 6 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑪ 「高齢者福祉事業」【長寿課】
開催日時	令和元年 8 月 6 日（火） 午前 9 時 3 5 分から午前 1 0 時 3 5 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> 行政改革推進委員 石橋健一、樋口和則、細萱健一 外部評価委員 唐田宏樹、村上 結 <p>< 担当課 ></p> <p>福祉部長 川本晋司、同部次長兼長寿課長 中野智夫、同課課長補佐 粕谷庸介</p> <p>< 事務局 ></p> <p>行政課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	8 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0 5 6 1 - 5 6 - 0 6 0 5
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・長生学園事業に関する実行委員会形式について、実行委員である高齢者の負担にならないように配慮されたい。 ・この事業のように行政サービスにおいては、行政サイドで公平公正さを担保する必要があると思う。市の方針として、様々なことを「市民にまかせている」が、この公平公正さの担保をどこで取るかが重要であり、そのためには分析が必要と思う。 ・「地域にやってもらいたい」、「市民にまかせる」について、丸投げではなく、行政も一緒になり課題に対応し、育んでいくようになればよいと思う。「まかせていきたい」が全面に出てしまうと、その受け皿にも限界があると思う。調整しながら取り組まれたい。 ・事業や制度の認知度が高いが、参加者数が少ない要因について、分析されたい。 ・この事業は互助でやりたいものと認識し、その成果指標として、シニアクラブの人数を増やしたいことだと推測するが、増えない要
-----------------	--

	<p>因を分析する必要があると思う。また、他方でシニアに限定しなくてもよいとも思う。シニアクラブ以外の指標設定も考えられるとよい。それにより、今後の事業展開として、すそ野が広がるように思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の活動の中にシニアの方の活動支援を組み合わせることは有効と思う。 ・「役所にお金がないから、市民にお願いする」というロジック、理屈は成り立たないと思う。そのためには、市民に財政状況、行いたい事業を説明し、理解を得ないと、「市民におしつけている」ように感じるため、安易な考えは危険である。丁寧な説明が必要である。別の事業との組み合わせも一つの方策である。 ・実行委員会や各リーダーの育成について、「人づくり」には時間が掛かる。そのためには、共感や理解が必要である。 ・評価について、はっきりしない部分（推測の域を出ないような事象）があるため、「量」と「質」の両側面から評価されるとよい。 ・「老人福祉事務事業」（B票）の改善ポイントについて、「申請などの不備」とあるが、この不備の対応をして、他の事業に影響があると本末転倒となるため、留意すること。 ・「老人福祉事務事業」という名称は再考されるとよい。
--	---

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と協働する際の必要性について、丁寧な説明をし、市民に納得、共感してもらうことが大事である。一過性のものではなく、丁寧な説明をし、時間を掛けて取り組んでほしい。 ・評価について、「量」だけでなく「質」（満足度）の評価を是非加えて、両面を組み合わせ行ってほしい。シニアの方々の多様な趣味や趣向が反映できるとよい。
--------	--

令和元年度“「長久手市役所の仕事」通知表”の作成（外部評価）⑫

令和元年 8 月 6 日 開催概要

開 催 概 要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑫ 「中央図書館事業」【中央図書館】
開催日時	令和元年 8 月 6 日（火） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p>< 外部評価実施者 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 石橋健一、樋口和則、細萱健一 ・外部評価委員 唐田宏樹、村上 結 <p>< 担当課 ></p> <p>教育部長 角谷 俊卓、中央図書館主幹 二之部香奈子、同館係長 水野香織</p> <p>< 事務局 ></p> <p>総務部長 中西直起、同部次長兼行政課長 飯島 淳、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	5 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備 考	

外部評価実施者の 意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の図書館ボランティアは有意義なため、ボランティアを支援していく仕組みは重要であり、引き続き支援に取り組まれない。 ・修理ボランティアについて、人員数に課題があることは認識したため、引き続き尽力されたい。 ・障がい者向け図書を扱っていることは有意義なため、貸出状況を分析し、継続した取組に期待する。また、周知も行ってほしい。 ・これから先、電子図書が普及するため、調査、研究する必要があると思う。 ・成果指標の「貸出点数」や環境変化の中で近隣市で比較している「市民 1 人あたりの年間貸出冊数」について、延べ貸出数や、1 人あたり貸出数のため、多く借りる人がいる他方で少ない人もいるため、これだけで満足してはいけないと思う。
-----------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用は、本を借りるだけではなく勉強や本を読むことなど様々なため、図書館の利用状況を分析し、引き続き、利用しやすい環境づくり取り組まれない。他市町に在住している人は、「長久手市の図書館はよい」と言っているため、引き続き尽力されたい。 ・市内登録率を上げることにについて、「年齢別貸出点数グラフ」を見ると、30歳代、40歳代と小学生以下の割合が高いことにより、子育て世代とその子どもが登録していることが読み取れるため、中学生以上の10歳代と20歳代が少ないことから、ここがターゲットとなる。このターゲットについて、20歳代はビジネス書、学生は受験や学問に関する書籍かと推測できるため、統計資料を分析し、活用するとよい。 ・入館者数と貸出利用数の差（約3分の1の利用）について、年齢構成層（年齢別貸出点数グラフ）の求める書籍と違うもの入っていたり、なかったりするものと思う。 ・貸出利用数を増やすためには、入館者数を増やす必要があり、入館者数が増えると駐車場を拡大する必要性が生じる。一つの課題を解決すると、また違う課題が出てくるため、上手に長期的に考えて取り組んでほしい。 ・ボランティアのロコミは効果的であるため、利用者数の増加のために活用するとよい。 ・他の課との連携について、非常に考慮して取り組んでいるため、引き続き機能強化を図りつつ、本へのアクセスが身近になるように取り組まれない。
--	--

講評・まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料が多くあるため、この資料を分析し、適切に準備し、上手に管理、運営し、よい雰囲気の図書館を継続して作ってほしい。 ・ボランティアの活動について、引き続き尽力され、また、多くの人が関わり、ボランティアの人たちが「自分たちの図書館」と思えるような活動、取組を推進してほしい。
--------	--